平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月18日

上場会社名　株式会社 ツルハホールディングス　　上場取引所　東
コード番号　3391　URL　http://www.tsuruha-hd.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 鶴羽　樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員　管理本部長　(氏名) 大船　正博　TEL 011-783-2755

四半期報告書提出予定日　平成25年1月4日　配当支払開始予定日　平成25年1月15日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第2四半期の連結業績(平成24年5月16日～平成24年11月15日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	172,508	7.0	11,702	21.1	13,069	29.4	7,229	31.1
24年5月期第2四半期	161,228	6.4	9,661	18.5	10,097	18.3	5,515	24.2

(注)包括利益　25年5月期第2四半期　8,098百万円　(45.4%)　24年5月期第2四半期　5,568百万円　(30.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	306.31	303.84
24年5月期第2四半期	233.33	232.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第2四半期	151,511	95,944	63.0	4,022.58
24年5月期	142,694	88,410	61.6	3,736.65

(参考) 自己資本　25年5月期第2四半期　95,435百万円　24年5月期　87,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	―	37.50	―	62.50	100.00
25年5月期	―	50.00			
25年5月期(予想)			―	50.00	100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 5月期の連結業績予想(平成24年5月16日～平成25年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	343,241	6.9	21,690	13.8	23,498	17.8	12,925	22.0	544.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期2Q	23,931,634 株	24年5月期	23,740,134 株
② 期末自己株式数	25年5月期2Q	206,798 株	24年5月期	231,542 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期2Q	23,602,999 株	24年5月期2Q	23,638,635 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化により上記数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年５月16日～平成24年11月15日）における経済情勢は、復興需要等を背景に緩やかながら景気回復の動きがみられるものの、雇用情勢は依然として厳しく、さらに欧州の経済不安をはじめとする景気の先行き不透明感から低価格志向の消費が続いております。ドラッグストア業界においては、業種の垣根を越えた業務・資本提携や、生き残りをかけた企業の統合・再編への動きが強まっているほか、競合他社の出店や価格競争は引き続き激化しており、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループではカウンセリングを主体とした接客サービスの徹底を継続して行うとともに、戦略的な営業施策を実施いたしました。

具体的には、お客様のニーズに対応する高付加価値商品のカウンセリング販売に注力したほか、高品質で低価格のプライベートブランド商品「M’s one（エムズワン）」の積極的な展開、利便性を考慮した食品の導入拡大、地域性を踏まえた営業時間の見直しなどが功を奏し、既存店売上高は好調に推移しました。

出店につきましては、平成24年10月25日に栃木県内グループ１号店となる「ツルハドラッグ宇都宮東宿郷店」を出店したほか、ドミナント戦略に基づく地域集中出店および既存店舗のスクラップアンドビルドを推進したことにより、期首より38店舗の新規出店と15店舗の閉店を実施いたしました。この結果、当第２四半期末のグループ店舗数は直営店で1,031店舗となりました。なお、平成24年11月15日にタイ国バンコクに「ツルハドラッグ　シーコン・バンケー店」を出店し、タイ国内の当社グループ店舗は２店舗となりました。

当社グループの出店・閉店の状況は次のとおり　（単位：店舗）

	前期末店舗数	出店	閉店	純増	第２四半期末店舗数	うち調剤薬局
北海道	320	4	4	0	320	56
東　北	324	13	1	12	336	61
関東・甲信	310	11	9	2	312	83
中部・関西	13	3	1	2	15	1
中　国	41	7	－	7	48	15
国内店計	1,008	38	15	23	1,031	216

（その他　海外店舗　２店舗、ＦＣ加盟店舗　11店舗）

これらの結果、当第２四半期連結累計期間における業績は、売上高は1,725億08百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益117億２百万円（同21.1%増）、経常利益130億69百万円（同29.4%増）、四半期純利益72億29百万円（同31.1%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて88億17百万円増加し、1,515億11百万円となりました。おもな要因は、現金及び預金と有価証券の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて12億82百万円増加し、555億66百万円となりました。おもな要因は、新規出店に伴う買掛金の増加等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて75億34百万円増加し、959億44百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は1.4ポイント増加し、63.0%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて13億82百万円増加し、344億93百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、89億10百万円(前年同期69億16百万円使用)となりました。これはおもに、税金等調整前四半期純利益123億74百万円となったことと仕入債務20億74百万円の増加等のプラス要因、法人税等の支払額55億34百万円とたな卸資産15億43百万円の増加等のマイナス要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、65億92百万円(前年同期５億20百万円獲得)となりました。これはおもに、有価証券の取得50億円、新規出店に伴う差入保証金11億57百万円、有形固定資産の取得10億67百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、９億36百万円(前年同期10億68百万円使用)となりました。これはおもに、配当金の支払14億70百万円、新株発行による収入７億29百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期（平成24年５月16日～11月15日）におきましては、売上高が順調に推移するとともに、利益率の改善と経費削減に努めた結果、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも当初業績予想を上回る結果を収めることが出来ました。下期につきましても、連結予算を達成出来る見通しであることから、平成25年５月期の連結業績予想の修正を行うものであります。

詳細につきましては、本日別途公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年５月16日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年５月15日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年11月15日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,536	15,916
売掛金	7,238	7,589
有価証券	19,600	23,600
商品及び製品	40,777	42,315
原材料及び貯蔵品	18	24
繰延税金資産	1,864	1,765
短期貸付金	21	21
その他	4,786	4,636
流動資産合計	87,843	95,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,086	7,466
工具、器具及び備品（純額）	2,604	2,562
土地	2,494	2,494
その他（純額）	130	332
有形固定資産合計	13,316	12,856
無形固定資産		
のれん	10,865	10,315
ソフトウエア	320	318
その他	184	120
無形固定資産合計	11,370	10,754
投資その他の資産		
投資有価証券	6,187	7,507
繰延税金資産	411	481
差入保証金	21,849	22,209
その他	1,773	1,890
貸倒引当金	△57	△58
投資その他の資産合計	30,164	32,030
固定資産合計	54,850	55,641
資産合計	142,694	151,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年５月15日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年11月15日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,760	35,835
短期借入金	1,120	838
未払金	5,277	5,056
未払法人税等	5,301	5,007
賞与引当金	2,348	2,144
役員賞与引当金	352	188
ポイント引当金	869	1,005
その他	1,012	834
流動負債合計	50,042	50,911
固定負債		
繰延税金負債	1,674	2,020
退職給付引当金	346	384
役員退職慰労引当金	15	15
資産除去債務	846	868
その他	1,359	1,365
固定負債合計	4,242	4,654
負債合計	54,284	55,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,691	7,118
資本剰余金	22,282	22,734
利益剰余金	56,327	62,088
自己株式	△953	△851
株主資本合計	84,348	91,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,476	4,345
その他の包括利益累計額合計	3,476	4,345
新株予約権	584	509
純資産合計	88,410	95,944
負債純資産合計	142,694	151,511

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年５月16日 至　平成23年11月15日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年５月16日 至　平成24年11月15日）
売上高	161,228	172,508
売上原価	116,029	123,988
売上総利益	45,199	48,519
販売費及び一般管理費	35,538	36,817
営業利益	9,661	11,702
営業外収益		
受取利息	57	77
受取配当金	26	69
備品受贈益	185	181
受取補償金	－	388
受取保険金	－	541
その他	179	135
営業外収益合計	448	1,392
営業外費用		
支払利息	8	7
貸倒引当金繰入額	－	18
その他	4	0
営業外費用合計	12	26
経常利益	10,097	13,069
特別利益		
投資有価証券売却益	0	－
固定資産売却益	－	0
新株予約権戻入益	－	73
特別利益合計	0	74
特別損失		
固定資産除却損	47	59
固定資産売却損	5	－
災害による損失	22	－
リース解約損	2	2
投資有価証券評価損	－	24
減損損失	116	676
その他	6	6
特別損失合計	201	769
税金等調整前四半期純利益	9,896	12,374
法人税、住民税及び事業税	4,660	5,245
法人税等調整額	△280	△100
法人税等合計	4,380	5,144
少数株主損益調整前四半期純利益	5,515	7,229
四半期純利益	5,515	7,229

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年５月16日 至　平成23年11月15日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年５月16日 至　平成24年11月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,515	7,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	868
その他の包括利益合計	53	868
四半期包括利益	5,568	8,098
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,568	8,098
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年５月16日 至　平成23年11月15日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年５月16日 至　平成24年11月15日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,896	12,374
減価償却費	1,053	1,050
減損損失	116	676
災害損失	22	－
のれん償却額	549	549
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6	1
賞与引当金の増減額（△は減少）	△236	△203
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△147	△163
退職給付引当金の増減額（△は減少）	35	38
ポイント引当金の増減額（△は減少）	780	135
受取利息及び受取配当金	△84	△146
受取保険金	－	△541
受取補償金	－	△388
支払利息及び割賦利息	8	7
備品受贈益	△185	△181
固定資産除却損	47	59
固定資産売却損益（△は益）	5	△0
投資有価証券評価損益（△は益）	－	24
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	－
新株予約権戻入益	－	△73
売上債権の増減額（△は増加）	630	△351
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,456	△1,543
仕入債務の増減額（△は減少）	△12,087	2,074
未払消費税等の増減額（△は減少）	△445	△40
その他	△197	56
小計	△2,700	13,415
利息及び配当金の受取額	48	107
保険金の受取額	－	541
補償金の受取額	－	388
利息の支払額	△7	△7
法人税等の支払額	△4,257	△5,534
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,916	8,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△1
定期預金の払戻による収入	1,506	3
有価証券の取得による支出	－	△5,000
有形固定資産の取得による支出	△650	△1,067
有形固定資産の売却による収入	12	20
ソフトウエアの取得による支出	△47	△103
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	4	－
貸付金の回収による収入	10	11
差入保証金の支出	△868	△1,157
差入保証金の返還	590	627
その他	△35	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	520	△6,592

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年５月16日 至　平成23年11月15日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年５月16日 至　平成24年11月15日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,120	838
短期借入金の返済による支出	－	△1,120
長期借入金の返済による支出	△16	－
社債の償還による支出	△100	－
リース債務の返済による支出	△17	△17
新株発行による収入	12	729
自己株式の売却による収入	7	126
自己株式の取得による支出	△1,030	△0
配当金の支払額	△1,044	△1,470
その他	1	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,068	△936
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△7,464	1,382
現金及び現金同等物の期首残高	35,583	33,111
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	－	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,119	34,493

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。